

日本ジオパークネットワークにおける教育WGの活動について(2015年度)  
About the activities of education WG in Japanese Geoparks Network (2015)

\*蒔田 尚典<sup>1</sup>、山本 隆太<sup>2</sup>、日比野 剛<sup>3</sup>  
\*takanori makita<sup>1</sup>, Ryuta YAMAMOTO<sup>2</sup>, Tsuyoshi HIBINO<sup>3</sup>

1.四国西予ジオパーク推進協議会、2.静岡大学、3.白山手取川ジオパーク推進協議会  
1.Sikokuseiyo Geopark Promotion Council, 2.Shizuoka University, 3.Hakusan Tedorigawa Geopark Promotion Council

日本ジオパークネットワークは、組織の一つとして活性化部会(運営会議)を設置し、日本ジオパーク認定方針及び審査基準等、様々な課題について検討する活動を行ってきた。

ただ、活動の中で顔の見える議論が行えない、検討すべき課題が山積みといった多くの問題があった。そこで、多くの課題を解決すること、ネットワークとして主体性を持った活動を展開することを目的に、2015年5月の活性化部会(運営会議)では、6つの分科会(審査、組織、教育など)が設けられ、分科会ごとに、課題や事例についての情報共有などが行われた。

その後、テーマごとにより詳細な議論を行うため、ワーキンググループ(以下WG)を設置することになった。

教育WGは、5月の教育分科会で共有したジオパークの教育活動における課題解決に向けた議論を進めるため、2015年6月に立ち上げた。

2015年度は、各地域での教育の取組みについて事例集の収集、日本ジオパークネットワーク全国大会霧島大会教育分科会の開催、ジオパーク教育のスタンダード2015年度版の作成、日本ジオパークネットワークの副読本検討といった活動を実施した。

当発表では、2015年度の教育WGの活動内容について報告すると共に、2016年度の活動予定についても合わせて報告する。

キーワード：日本ジオパークネットワーク、ジオパーク教育、ワーキンググループ、ネットワークへの貢献  
Keywords: Japanese Geoparks network, Geopark education, Working group, Contribution to the network

